

高等部 保健体育 1段階 C陸上競技

単元名:「陸上競技(短距離走)」

Mさんの本時の個別の指導目標 (保健体育科 1段階)

- ① 短距離走の楽しさや喜びを味わい、正しいフォームやスタート方法を身に付けることができる。(知識及び技能)
- ② 短距離走において自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。(思考力・判断力・表現力等)
- ③ 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したり、自主的に運動しようとしている。

(学びに向かう力、人間性等)

資質・能力を育むための指導のアイデア

【指導と評価の一体化】

単元構成

- ・生徒自身が、自分の動きやフォームの映像を用いながら、効率的な動きと生徒の実際の動きを客観的に振り返る活動を取り入れる。



教材

- ・ICTを活用して、スローモーションなどの機能を使って、自分のフォームを振り返ることができるようにする。

指導

- ・実態に合わせてスモールステップを設定し、振り返りを行う。
- ・基本となる動きを行い効率的な動きの土台を作る。その上で、メインとなる動きのフォームを固める。



言葉

- ・ティーチングとコーチングをうまく取り入れながら生徒の学習の仕方に幅をもたせたい。

<単元研究会のあと…>

目標を立てた時点での生徒の姿と評価後の生徒の姿では、若干の開きがあった。単元のまとまりの中で生徒の姿を明確に捉えながら授業を行わなければならないことを実感できました。「何をいつ学び、何ができるようになるのか」を意識すること、「単元をコントロールする必要があるってこのことか。」と改めて考えることができました。

